

資料 1

「IP化の進展に対応した競争ルールの在り方に関する懇談会」開催要綱（案）

1. 目的

我が国では、現在、通信網がPSTN(回線交換網)からIP(インターネット・プロトコル)網へと急速に転換しつつあり、電気通信事業を取り巻く環境が本格的なIP化時代の到来に向けて大きく変化しつつある。また、これに伴い、通信事業者のビジネスモデルについても従来の枠を超えた高度化・多様化が進展している。

本懇談会は、IP化への動きが本格化していると想定される2010年代初頭を念頭に置いて、それに対応した競争ルールの在り方について基本的な考え方を整理するとともに、接続・料金政策に係る検討の方向性を明確化することを目的として開催する。

2. 名称

本会の名称は、「IP化の進展に対応した競争ルールの在り方に関する懇談会」と称する。

3. 検討事項

本会は、以下の事項について検討する。

- (1) 本格的なIP化時代の競争政策の基本的考え方
- (2) 新しい接続政策の在り方
- (3) 新しい料金政策の在り方

4. 構成及び運営

- (1) 本会は、総合通信基盤局長の懇談会として開催する。
- (2) 本会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 本会には座長及び座長代理を置く。
- (4) 座長は、懇談会構成員の互選により定め、座長代理は、座長が指名する。
- (5) 座長代理は、座長を補佐し、座長不在のときは座長に代わって本会を招集し、主宰する。
- (6) 本会の議事は、特段の事情がある場合を除き公開を原則とし、透明性の確保に努める。
- (7) その他本会の運営に必要な事項は、座長が定めるところによる。

5. 開催期間

本会の開催期間は、平成17年10月から平成18年9月を目途とする。

6. 庶務

本会の庶務は、総務省総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課が行う。

(別紙)

「IP化の進展に対応した競争ルールの在り方に関する懇談会」構成員

(五十音順、敬称略)

- 依田 高典 (京都大学大学院経済学研究科助教授)
- 江崎 浩 (東京大学大学院情報理工学系研究科教授)
- 尾家 祐二 (九州工業大学情報工学部電子情報工学科教授)
- 酒井 善則 (東京工業大学大学院理工学研究科教授)
- 佐藤 治正 (甲南大学経済学部教授)
- 菅谷 実 (慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授)
- 関口 博正 (神奈川大学経営学部助教授)
- 東海 幹夫 (青山学院大学経営学部教授)
- 林 敏彦 (放送大学教授)
- 藤原 まり子 (株式会社博報堂生活総合研究所客員研究員)
- 舟田 正之 (立教大学法学部教授)
- 増野 大作 (野村證券株式会社金融経済研究所企業調査部主任研究員)
- 森川 博之 (東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授)